

大牟田市(仮称)総合体育館等整備に係る

設計・施工事業者選定

公募型プロポーザル審査結果報告書

令和3年8月

大牟田市(仮称)総合体育館等整備に係る設計・施工事業者審査委員会

## 1. 本プロポーザルの実施目的

デザインビルド方式による大牟田市（仮称）総合体育館等実施設計及び新築工事の請負先を決定するにあたり、高い技術力、本事業に対する理解や取組意欲、設計及び施工に関する実施方針や技術提案、提案価格などを総合的に評価し、最優秀提案者及び次点提案者を選定することを目的として、公募型プロポーザル方式が採用されました。

## 2. 審査体制

選定にあたっては、専門的見地からの考察に加え、公平性・透明性を確保するため、専門分野の委員も参加する「大牟田市(仮称)総合体育館等整備に係る設計・施工事業者審査委員会」（以下「委員会」という。）が設置されました。

## 3. 委員会委員

	氏名	役職等
委員長	志賀 勉	九州大学大学院 人間環境学研究院 准教授
副委員長	岩下 勉	有明工業高等専門学校 教授
委員	森田 健太郎	有明工業高等専門学校 助教
	鴛海 博	大牟田市 都市整備部長
	中島 敏信	大牟田市 市民協働部長

## 4. 委員会経過

委員会	開催日	内容
第1回	令和3年 1月19日（火）	設計・施工者選定方針について協議
第2回	2月25日（木）	設計・施工者選定方針の決定
第3回	3月23日（火）	プロポーザル実施要領、評価基準等の決定
第4回	6月2日（水）	VE提案項目の採否について協議
第5回	7月21日（水）	技術提案参加者の報告、技術提案評価方法の確認
第6回	7月30日（金）	プレゼンテーション及びヒアリングの実施、最優秀提案者と次点提案者を選定

## 5. プロポーザル参加者

2者

## 6. 審査内容

### (1) 実績・体制評価（配点：10点）

事前に定めた評価基準に基づき、参加者及び配置予定技術者等の実績・体制について

事務局が評価点を算定しました。

参加表明のあった2者全てが技術提案評価対象者に選定されました。なお、実績・体制評価の評価点は、技術提案評価の評価点確定後に当委員会が報告を受けました。

## (2) 技術提案評価 (配点：70点)

事前に定めた評価基準に基づき、業務全般、設計業務及び施工業務の分類ごとに参加者が技術提案し、委員との対面によるプレゼンテーション及びヒアリングを実施して、提案内容を評価しました。

業務全般に関しては「業務実施方針」「品質・コスト・工程管理の体制と手法」「地域振興・地域経済への貢献」の3つの提案項目、設計業務に関しては「より魅力的・合理的な施設設計」「安心・安全な避難所としての施設設計」「環境にやさしく、LCC低減が図られる施設設計」の3つの提案項目、施工業務に関しては「環境特性に配慮した施工計画等」「施工段階での品質・工程・リスク管理の手法」「アフターフォロー」の3つの提案項目について、項目ごとに評価しました。

## (3) 提案価格評価 (配点：20点)

技術提案評価の評価点確定後に封印されている提案価格見積書を開封し、評価基準に基づき事務局にて提案価格評価点を算定し、当委員会が報告を受けました。

## 7. 各参加者の評価点

区分		配点	番号 1	番号 2
(1) 実績・体制評価	A 企業実績	7.0 点	6.0 点	7.0 点
	B 設計業務	1.0 点	0.5 点	1.0 点
	C 施工業務	2.0 点	1.5 点	1.0 点
(2) 技術提案評価	A 業務全般	15.0 点	12.4 点	9.5 点
	B 設計業務	35.0 点	26.5 点	26.1 点
	C 施工業務	20.0 点	15.8 点	13.0 点
(3) 提案価格評価		20.0 点	7.4 点 4,605,443,700 円	3.7 点 4,785,000,000 円
評価点合計		100.0 点	70.1 点	61.3 点

※技術提案評価の配点は、各委員の評価点を分類ごとに平均して算出。

提案上限価格は、4,973,531,200 円(消費税及び地方消費税を含む)

## 8. 審査結果

番号	区分	参加者名
1	最優秀提案者	前田・日新・JSC 特定建設工事共同企業体
2	次点提案者	非公開

## 9. 審査講評

最優秀提案者となった「前田・日新・JSC 特定建設工事共同企業体」は、基本設計や大牟田市の地域特性をよく理解した上で各提案項目に対して優れた提案を行われました。

具体的には、業務全般において地域振興、地域経済にも努力するという姿勢に優位性がありました。この地域貢献額の差は大きく、必ず実現していただきたい項目です。

設計業務の提案では、基本設計において鉄骨鉄筋コンクリート造であったものをデザインビルドの利点である、提案者の技術力を活かした鉄骨造として提案され、種々の工夫により鉄骨量の低減、建物高さの抑制、3か月の工期短縮にも寄与される部分を高く評価しました。

施工業務の提案では、現場作業を減らすという感染症対策、大型車両の動線や使用中の既存体育館の利用者を考えた仮設計画について、提案内容と計画地周辺の特徴を把握した上での施工計画に優れた提案がありました。

また、気流が生じずバドミントンや卓球に対応し、ライフサイクルコストに有利な輻射式冷暖房を提案金額の範囲内で採用するなど、挑戦的な提案も含まれていました。各提案は持てる技術力や企業努力が最大限に発揮されており、総合的に評価できると考えます。

次点提案者は、評価点の合計では最優秀提案者に及びませんでしたが、基本設計をよく理解した上で地域特性や課題を踏まえ、各提案項目に対して完成度の高い提案を行われました。具体的には、基本設計を発展させたエントランス広場やプロムナードに関する計画に特徴があり、意欲的で優れた提案内容でした。

結果として応募は2者でしたが、技術提案の内容はデザインビルド方式の意図を理解した、非常にレベルの高いものでした。本プロポーザルに参加され、貴重な時間を費やし、真摯に努力頂きました各参加者に対し、心から感謝申し上げます。

結びに、今後、大牟田市が目指す『スポーツや運動を通じてひとを健康に、まちを元気にする 緑に囲まれた総合体育館』の実現を切に願います。

令和3年8月24日

大牟田市(仮称)総合体育館等整備に係る設計・施工事業者審査委員会  
委員長 志賀 勉